

令和 6 年度 部活動地域移行推進協議会 第 2 回 会議資料

令和 7 年 3 月 2 6 日（水）

教育委員会事務局学校教育部／市民局生活文化スポーツ部

報告

- 令和6年度の取組みについて
 - 1. 実証事業の進捗状況
 - 2. 指導者確保・掘起しに向けた取組み

議題

- 地域移行の理解を深める取組について
- 令和7年度の取組みについて
 - 1. 実証事業
 - 2. 休日の完全移行に向けた取組み

その他

- 視察(新潟市・長岡市)
- 国の動向
- 他市の動向

➤ 令和6年度の取組みについて

1. 実証事業の進捗状況について

◆ 検証項目：

1. 受託事業者の受託能力：指導者確保能力、緊急時の適切な対応
2. 活動拠点の集約化：複数校の部活を一つの地域クラブとして運営
3. 生徒・保護者満足度向上の取組：専門的かつ適切な指導の実施、イベントなど+αの取組み
4. 兼職兼業も含めた指導者確保：顧問教員だけでなく小学校教職員も指導者として採用
5. 教職員の負担軽減：平日と休日の連携の円滑化

1. 受託事業者の受託能力：指導者確保能力、緊急時の適切な対応

- 生徒が怪我発生時や熱中症対策も地域指導者が適切な対応
- スポーツ安全保険を活用し保険金請求なども適切に対応
- 指導上のトラブルが発生した際も地域指導者と統括責任者が連携し対応
- 巡回指導の実施・ICTツールの活用により指導者のフォローも適切に対応
- 人材バンク以外の手法でも必要となる人材確保、また指導者の確保・研修も適切に実施

- ✓ いずれの受託事業者も、今回実施した規模での適切な地域クラブ運営能力を有していることが検証できたが、次年度も規模を拡大して、検証を継続する。

1. 実証事業の進捗状況について

◆ 検証項目：

1. 受託事業者の受託能力：指導者確保能力、緊急時の適切な対応
2. 活動拠点の集約化：複数校の部活を一つの地域クラブとして運営
3. 生徒・保護者満足度向上の取組：専門的かつ適切な指導の実施、イベントなど+αの取組み
4. 兼職兼業も含めた指導者確保：顧問教員だけでなく小学校教職員も指導者として採用
5. 教職員の負担軽減：平日と休日の連携の円滑化

2. 活動拠点の集約化：複数校の部活を一つの地域クラブとして運営

- 集約化を19拠点で実施（運動17拠点、文化2拠点）
- 視察時のヒアリングでは、生徒からは「迫力ある演奏ができています」「充実した練習ができた」「新しい友人ができた」「学校の違いはあまり気にしない」など肯定的な意見が多かった。
- 効果測定アンケートでも、満足度は、単独クラブよりも合同クラブの方が高い。
- 移動の手間・用具の運搬についての負担があるという声も一定数存在（保護者・生徒）
- 吹奏楽では、それぞれの活動方針・方向性を事前にしっかりと共通理解を図る必要がある。
- 単独での活動を強く希望する部活動もあった。（特に部員数が試合出場数を充足している場合）

✓ 集約化を進めるが、関係者の理解を得るため、地域移行・集約化についての意図や背景等についての周知を図る。

1. 実証事業の進捗状況について

◆ 検証項目：

1. 受託事業者の受託能力：指導者確保能力、緊急時の適切な対応
2. 活動拠点の集約化：複数校の部活を一つの地域クラブとして運営
3. 生徒・保護者満足度向上の取組：専門的かつ適切な指導の実施、イベントなど+ α の取組み
4. 兼職兼業も含めた指導者確保：顧問教員だけでなく小学校教職員も指導者として採用
5. 教職員の負担軽減：平日と休日の連携の円滑化

3. 生徒・保護者満足度向上の取組：専門的かつ適切な指導の実施、イベントなど+ α の取組み

- 各事業者の強みを生かし、実業団チームとの連携、地域人材の活用など様々な取り組みが実施できた。
- 専門的な指導を受けられたこと、部活動では体験することができない活動に参加できたことを評価する声があった。
- 実業団・元プロなどによる高度な指導は一部の種目に限定され、幅広い種目への適用に課題がある。
- 基礎的なストレッチ・体力トレーニングは、種目横断的に実施でき、生徒のニーズも一定程度ある。
- 吹奏楽や演劇では、指導者の所属する団体の公演に生徒を招待するなど、指導者の理解を深める取組も行われた。
- 地元企業が地域貢献として継続的な指導者派遣を実施

✓ 地域人材・地元企業などと連携するとともに、生徒のニーズを把握し、受託事業者へさらなる取組みを促す。

1. 実証事業の進捗状況について

◆ 検証項目：

1. 受託事業者の受託能力：指導者確保能力、緊急時の適切な対応
2. 活動拠点の集約化：複数校の部活を一つの地域クラブとして運営
3. 生徒・保護者満足度向上の取組：専門的かつ適切な指導の実施、イベントなど+αの取組み
4. 兼職兼業も含めた指導者確保：顧問教員、小学校教員、人材バンクを活用し指導者確保
5. 教職員の負担軽減：平日と休日の連携の円滑化

4. 兼職兼業も含めた指導者確保：顧問教員だけでなく小学校教職員も指導者として採用

- 131人の指導者が実証事業で活躍。うち千葉市教員の兼職兼業は42人（中学校教員39人、小学校教員3人）
- 人材バンクで採用した指導者13人が指導者として活躍（候補者44人中採用13人）
- 生徒を対象としたアンケートでは、指導のわかりやすさ、専門性、親しみやすさのいずれも90%以上と高い評価を得られた。
- 地域指導者を対象としたアンケートでは、他人に勧めたい、と答えた人が29人（61%、n=48）と多かった。
- 受託事業者は巡回指導等により、指導者の不安解消・質の向上に努め、指導者からはおおむね好意的な評価だった。
- 大会引率については、部活動での出場か、地域クラブでの出場かについて対応が混乱したとの意見があった。

- ✓ 懸念事項である「教員以外が指導することへの不安」についても、研修・フォローアップを実施することで、解消可能。
- ✓ 地域指導者自身の満足度も比較的高かったが、平日との連携など不満点について改善・対応を図る必要がある。

1. 実証事業の進捗状況について

◆ 検証項目：

1. 受託事業者の受託能力：指導者確保能力、緊急時の適切な対応
2. 活動拠点の集約化：複数校の部活を一つの地域クラブとして運営
3. 生徒・保護者満足度向上の取組：専門的かつ適切な指導の実施、イベントなど+ α の取組み
4. 兼職兼業も含めた指導者確保：顧問教員だけでなく小学校教職員も指導者として採用
5. 教職員の負担軽減：平日と休日の連携の円滑化

5. 教職員の負担軽減：平日と休日の連携の円滑化

- ICTツール（スマートフォン用アプリケーション）を活用し、活動状況を共有
- 休日の様子が教員・保護者へ共有でき、教員の負担軽減、保護者の安心感につながった
- 平日の様子の共有については難しく、地域指導者が指導するうえで難しかったと答える事例もあった。
- 一部の大会は部活動で参加する必要がある、地域クラブでの大会参加を望む声も多い
- 現状は、大会参加の条件として大会運営に携わる必要がある、ノウハウなどの観点から地域指導者の対応も難しい。
- 吹奏楽については、楽器運搬での負担が大きい。

✓ 大会運営については、参加する大会の精査、運営方法のスリム化など主催者側への働きかけなどを行う必要がある。

J F E 東日本野球部による野球教室



トレーナーによる教室



サッカー部を対象とした走力向上セミナー



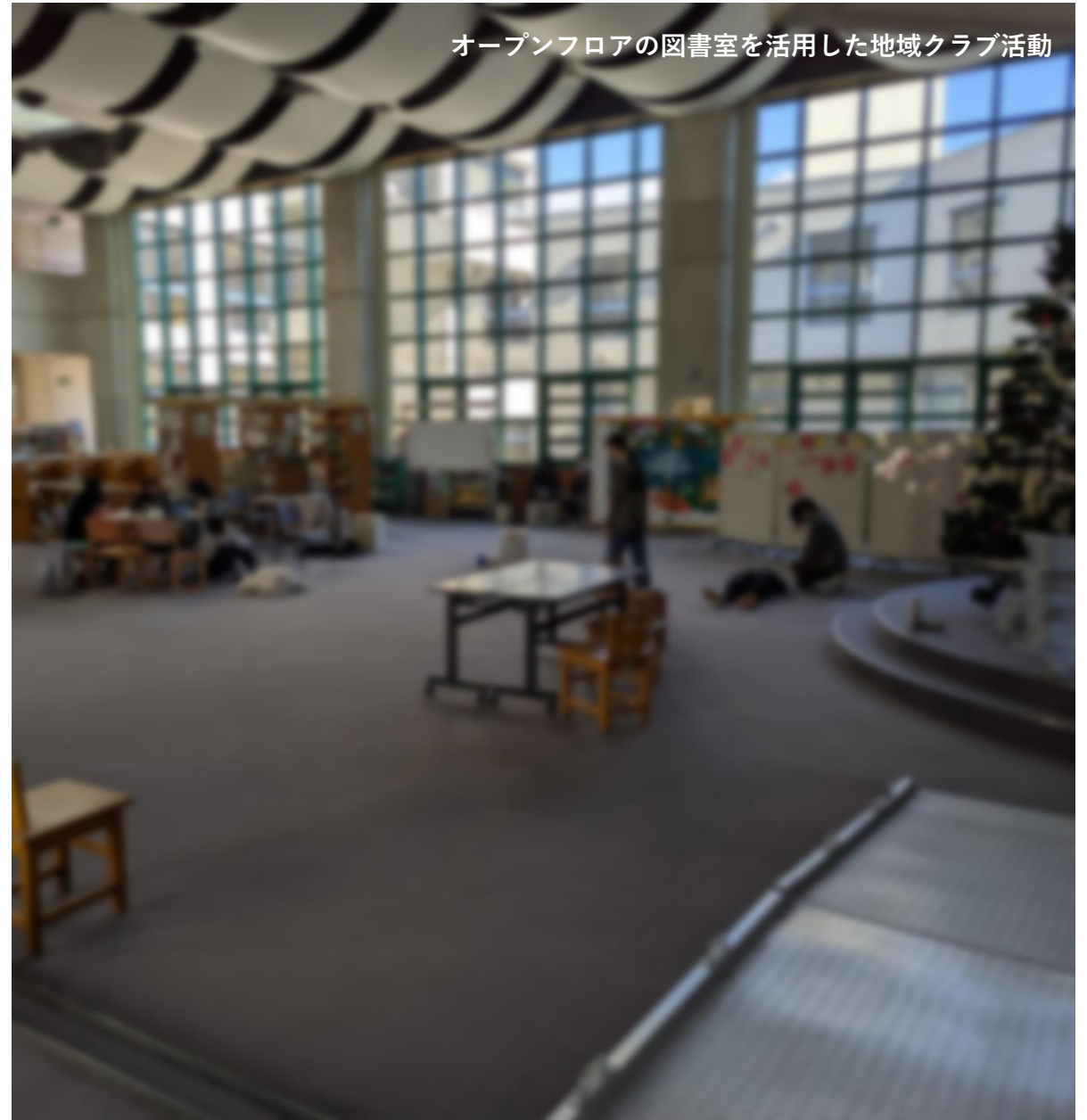
運動部を対象とした目標の立て方



2校が合同での地域クラブ（バスケットボール）の活動



オープンフロアの図書室を活用した地域クラブ活動



2校が合同での地域クラブ（吹奏楽）の活動



実証事業アンケート（生徒向け）

単純集計項目	問4.地域クラブ活動に参加した満足度を教えてください。			
回答	とても満足している	どちらかといえば満足している	どちらかといえば不満である	不満である
回答数	247	166	29	5

単純集計項目	問4-2.(とても満足している・どちらかといえば満足している)その理由を教えてください。								
回答	専門的な指導が受けられたから	指導者がフレンドリーで接しやすかったから	指導者の指導がわかりやすかったから	地域クラブと部活動が連携し、地域クラブでも違和感なく活動できたから	他の中学校の生徒と交流ができたから	部活動と違って休みやすかったから	大会などで入賞することができたから	部活動では行っていたことが無いようなイベントに参加できたから	その他
回答数	238	212	251	76	97	16	20	47	13

単純集計項目	問4-2.(不満である・どちらかといえば不満である)その理由を教えてください。							
回答	期待していたほど専門的な指導を受けられなかったから	普段と違う指導者で慣れるまで時間がかかった	地域指導者の指導方法がわかりにくかった・自分に合わなかったから	平日と休日の指導者が言っていること(指導方法)が異なることがあったから	他校の生徒と活動しにくかったから	部活動と違って参加人数が少なかったから(休む人が多かった・実証事業に参加しない人がいたなど)	自分の学校ではない学校での活動で、移動や荷物運搬などが大変だったから	その他
回答数	15	13	17	11	4	5	2	7

その他のアンケート結果は、別紙のとおり

競技団体HPに掲載依頼をしたチラシ

◆ 大学・競技団体・民間企業と連携した指導者確保の取り組み

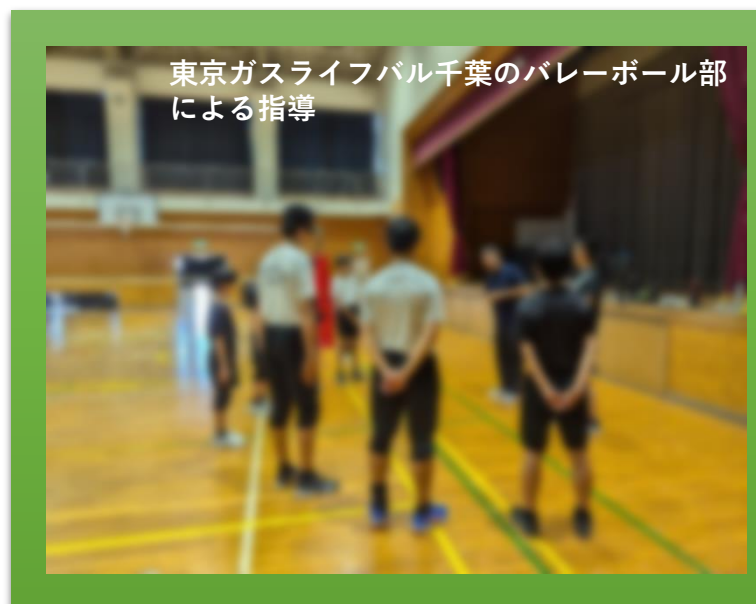
③ 民間企業との連携

- 市内企業において人材確保を強化することを目的として、社員が地域クラブ指導者としても活動できる制度を制定し、大学生へのアプローチを実施

同制度を活用している民間事業者

ビー・トランセホールディングス(株)【バス事業者】、(株)三協リール【機械製造】、デンタルサポート(株)【訪問歯科】外3社、今後、採用事業者も増える見込み

- 民間事業者が地域貢献として、自社のバレーボール部に所属する社員を、地域指導者として派遣



千葉市内中小企業が千葉市の子どもたちのために
地域クラブ指導社員採用
はじめました

子供たちの未来の才能を伸ばす若い力を、このプロジェクトで募集いたします



こんな学生との出会いを探しています

- ◆ プロを目指すほどではないかな…
- ◆ プロで活躍できるような場がない
- ◆ この企業で働きたい
- ◆ プライベート時間も大事にしたい

でも! 大好きなスポーツ文化に関わり続けたい! 子どもたちに広めたい!

働き方例 平日…フルタイム勤務(例:8:30~17:30) 土曜半日…千葉市内中学校地域クラブ指導
日曜祝日…休み ※①練習試合などで市内への引率等の臨時対応の可能性あり
※②毎週の対応が難しい場合は隔週など、自身の都合に合わせて調整可能

雇用形態 企業との契約…正社員(詳細は各社規定による)
指導員の契約…千葉市から委託されたスポーツクラブとの業務委託契約

給 与 企業との契約…正社員給与(各社求人票をご覧ください)
指導員の契約…時給1,600円程度(2024年10月現在)

子どもたちを取り巻く環境は少子化により大きく変化しており、部活動では人数不足でチームが成り立たず廃部となるケースが増えています。
国は、部活動改革を進めており、部活動を学校主体の部活動ではなく地域主体の地域クラブへと移行する取り組みをしています。その改革の中で、指導者をどう確保するかが課題となっています。
一方、中小企業は、少子化による人手不足に苦慮しております。この課題を双方解決すべく、千葉市と協力して新たな雇用機会創出のプロジェクトを立ち上げました。

【千葉市教育委員会】
千葉市では、生徒のスポーツ・文化芸術活動の場を確保するため、現在学校に設置されている部活動の休日活動を『地域クラブ』として活動できるよう、部活動地域移行に取り組んでいます。
教員に代わって、競技歴のある、活動の楽しさを指導してくださる方を募集しています。



民間企業が使用しているリーフレット

➤ 地域移行の理解を深める取組について

保護者や生徒、教職員・地域住民の理解促進のため、「千葉市の地域クラブ移行」の具体的な内容を「地域移行のポイント」として検討・調整を実施。

ポイントに対する懸念事項として、平日の部活動と休日の地域クラブが並行稼働することで、部活動への負担増や混乱を懸念についての指摘があった。

部活動の代替え	各学校に設置されており、継続的に休日に活動を行っている部活動が、地域移行の対象となり、各学校で活動する地域クラブとして設置される。 休日に活動していない部活動や設置されていない種目は、継続的な地域クラブとして設置しない。
活動場所の集約化	各学校に設置されている部活動を一つの地域クラブとして設置するが、活動に一定数の人数が必要となる集団競技(野球・サッカー・吹奏楽)を中心に、複数校で一つの地域クラブを設置
活動場所の拠点化	自分の学校に活動したい地域クラブが設置されない場合でも、他校に設置された地域クラブに参加し自分の好きな種目の活動を可能に。 地域クラブには、自分の学校の生徒だけでなく、近隣の学校の生徒も参加し、交流の場に。



懸念事項
学校事情から部活動を廃部せざるを得ないところであるが、地域クラブが設置されると廃部にできない。
現状、十分な部員数である部活動であっても、合同となる場合は、関係者からの理解が難しい
他校から自校に設置された地域クラブに参加した生徒が自校の部活に参加するにあたっての環境が整っていない状況では、部活動顧問の負担が増えることが危惧される。

地域クラブ移行の基本理念である「少子化が進む中、将来にわたり生徒がスポーツ・文化芸術活動に継続して親しむことができる機会を確保する」「部活動の教育的意義を継承・発展させ、新しい価値が創出」「地域の持続可能で多様な環境を一体的に整備」といった観点から、懸念事項について十分配慮し実証事業において、検証を段階的に実施し、各方面への影響を確認・考慮し取組みを進める。

➤ 令和7年度の取組みについて

1. 実証事業

2. 休日の完全地域移行に向けた検討

	改革推進期間		
	R 5	R 6	R 7
休日の地域移行活動	・地域移行・地域連携の実証事業 運動部(12)・文化部(3)の15部活を対象とする実証事業	・地域移行の対象校を拡大し、30拠点程度で実証事業を実施	・ <u>すべての中学校(54校)で、複数部活の実証事業を実施。</u>

- ・ 54校150部活（運動部118、文化部32）が107の地域クラブとして活動
 - ・ 9月～3月までの25回（一部の学校は4月～3月までの通年での実証事業を実施）
- 市内を3エリアに分けて実証事業の委託を実施。（1エリアあたり27～49クラブの運営を実施）

➤ 令和7年度の取組みについて

1. 実証事業

2. 休日の完全地域移行に向けた検討

検証項目

地域移行のポイントを実証事業で実践し、完全移行に向けた検証を引き続き行う。

- ・ 代替→部活動をそのまま地域クラブ
- ・ 集約化→野球・サッカー等を集約
- ・ 拠点化→柔道・剣道・硬式テニス・水泳・ヨット・陸上競技・新体操を拠点（センター化）
- ・ その他の検証項目として以下を実施
 - ・ 指導者の確保・研修・適正な指導
 - ・ 一部の学校で4月から8月までの期間について実証事業を実施。（1～3年生が在籍）
 - ・ 生徒のニーズを捉えた内容充実の取組みの実施

➤ 令和7年度の取組みについて

1. 実証事業

2. 休日の完全地域展開に向けた検討

検討事項

- 全体経費の算出と費用負担→国・自治体・保護者の適切なバランスを検討する必要がある。
 - 完全地域展開実施時の地域クラブ活動運営経費の算出
 - 保護者負担額の検討（アンケート等）
- 休日部活動の完全地域移行の実施時期→中学校体育館のエアコン設置に伴う利用不可期間
 - 保護者周知期間
 - 令和7・8年度で市内全中学校体育館にエアコンを設置する計画
- 平日の地域移行実施方法→部活動の在り方、平日と休日の関係

➤ その他

1. 新潟市・長岡市視察

◆ 新潟市

□ 概要

- ✓ R8年度4月から、全市統一的に、休日の部活動は行わない。平日は学校毎に判断する。(部活廃止の学校も)
- ✓ 部活動を実施する場合は、教員の勤務時間内に活動することを原則とする。(平日も活動時間は16:45まで)
- ✓ 部活動の設置についても、学校長の判断で決定。部活動を残すことを選択する学校、部活動を廃止する学校など様々であり、約半分が部活を廃止している。
- ✓ 部活動の受け皿として、保護者が中心となり地域クラブを設置。運営(指導者確保・会費徴収)も保護者が実施。
- ✓ 地域クラブを設置する・設置しないも保護者が判断し、設置しない事例も一定数存在している。
- ✓ 学校施設はジュニア枠という枠を作り、放課後～社体の間の隙間時間(平日17:00～19:00 土日は7:00～18:00)を地域クラブが使用。
- ✓ 保護者クラブからの依頼に基づき、教員が兼職兼業で従事する場合もある。

□ 活動の様子

- ✓ 多くは部活動を母体とした地域クラブであり、子どもたちも戸惑っている様子などは見られなかった。
- ✓ 保護者が設置した地域クラブでは保護者が運営に積極的であり、見守り活動に2～3名が参加している。(見守り活動は有償・輪番)
- ✓ 指導者がいない場合もあり、その際は保護者の見守りの中、活動をしている場合もある。
- ✓ 会費は低額に抑えられている(3,000円/月)一方で、謝礼が比較的低額(指導者1000円/時間、見守り500円/回)になっている。
- ✓ 保護者が指導者となっている吹奏楽部では、生徒も普通に受け入れている様子が見られた。
- ✓ 基本的に自校の生徒のみが地域クラブに参加しており、複数校の生徒が参加している事例は現時点ではなかった。

□ 学校の反応

- ✓ 部活動の廃止を打ち出した際は、保護者からの反発もあったが、現在は受け入れてくれている。
- ✓ 教員は、とても働きやすくなったと感じている。
- ✓ 地域クラブへ移行することを優先とし、課題はあるが、その都度考えながら対応している。



新潟スタジアムでの専門的な陸上地域クラブ



指導者（保護者）と見守り（保護者）の元での活動



バスケットボールクラブでの活動風景

- 地域クラブであっても、生徒は問題なく活動をしており、部活動からも引き続き参加できる環境となっている。（地域移行によって参加しなくなる生徒はあまりいない模様）
- 地域クラブによって差はあるが、保護者が見守りに従事するなど、運営にしっかりと関わっている様子が印象的だった。

➤ その他

1. 新潟市・長岡市視察

◆ 長岡市

□ 概要

- ✓ 地域移行に当たっては教育的意義の継承(教え合う、思い通りにいかないことへの学び)を重視
- ✓ 子どもの意向(優勝を目指す生徒や初心者との混在(技能や目標の高さに合わせた活動ではない))への対応
- ✓ 大人が「勝ちたい」「こうしたい」ではなく、子供たちの「楽しみたい」「勝ちたい」を支援
- ✓ 米100俵の考え方で保護者が協力的と感じている。
- ✓ 令和7年9月以降の休日から地域移行を行い、平日はその後実施する計画。
- ✓ 地域クラブの運営は、市スポーツ財団(市文化芸術財団も連携)が行う

□ 移行にあたっての検討

- ✓ 地域クラブは種目ごとにエリア制として、一つの地域クラブには複数の学校の生徒が参加する計画。
- ✓ エリアの設定については、中体連専門部と連携し、1年以上かけて検討し、設定した。なお、生徒の参加状況によっては、エリアの変更もあり得る。
- ✓ 地域移行によって、中体連大会の出場枠が減らないように調整をしている

□ その他

- ✓ 大会運営は、主催者による検討が必要な事項である。
- ✓ 大会への出場は、地域クラブでの出場。部活動での出場はしない。
- ✓ 指導者が十分確保できない場合は、保護者の見守りによる活動。その場合は、定期的に専門的な指導者を派遣し、活動レベルを確保する計画。
- ✓ 指導者に対する生徒・保護者評価を実施し指導・助言の材料に。改善しない場合は契約解除

➤ その他

2. 国の動向

□ 名称の変更

- ✓ 「地域移行」から「地域展開」へ

学校内で運営されてきた活動を広く地域に開き、地域全体で支えていく。

新たな価値を創出し、より豊かで幅広い活動を可能とする

□ 改革の方向性

- ✓ 令和8～13年度を改革実行期間(令和5～7年度:改革推進期間)
- ✓ 休日の地域展開は、令和13年度までに原則実施
- ✓ 実行期間内に平日の地域展開に取り組むこと
- ✓ 受益者負担と公的負担とのバランス等の費用負担の在り方を検討する必要がある
- ✓ 公的負担については、国・自治体で支えあうことが重要
- ✓ 経済的に困窮する世帯の生徒への支援については確実に実施

3. 今後の改革の方向性

- 地方公共団体が幅広い関係者の理解と協力の下、平日・休日を通じた活動を包括的に企画・調整し、多様な選択肢の中から地域の実情等にあった望ましい在り方を見出し、改革の方針を決定することが重要（生徒・保護者等への丁寧な説明も必要）。
※休日の地域展開とともに、平日の地域展開もあわせて、できるところから取り組むことなどもあり得る。

改革の 進め方	・<u>休日</u>については、<u>次期改革期間内に、原則、全ての学校部活動において地域展開の実現を目指す。</u> ※地域の実情等を踏まえつつ、できる限り前倒しでの実現を目指すことが望ましい。 ※<u>中山間地域や離島など特殊な事情により地域展開に困難が伴う場合等には、国としても、きめ細かなサポートを通じて地域展開を後押し。それでも地域展開が困難な場合には、当面、部活動指導員の配置等を適切に実施。</u> ・<u>平日</u>については、<u>各種課題を解決しつつ更なる改革を推進。</u>まずは、<u>国において、地方公共団体が実現可能な活動の在り方や課題への対応策の検証等を行うとともに、地方公共団体において地域の実情等に応じた取組を進める。</u>
次期 改革期間	「<u>改革実行期間</u>」（<u>前期：令和8～10年度 ⇒ 中間評価 ⇒ 後期：令和11～13年度</u>） ※現時点で着手していない地方公共団体においても、<u>前期の間に休日の地域展開等に着手。</u> ※<u>平日の改革については、前期において活動の在り方や課題への対応策等の検証を行った上で、中間評価の段階で改めて取組方針を定め、更なる改革を推進。</u>
費用負担 の在り方等	・地方公共団体において、地域の実情等に応じて安定的・継続的に取組が進められるよう、<u>受益者負担と公的負担とのバランス等の費用負担の在り方等を検討</u>する必要。 ・公的負担については<u>国・都道府県・市区町村で支え合う</u>ことが重要。 ・企業版ふるさと納税やガバメントクラウドファンディングをはじめとした寄附等の活用等、<u>新たな財源の確保も有効に組み合わせていくことが重要。</u> ・家庭の経済格差が生徒の体験格差につながることをないよう、<u>経済的に困窮する世帯の生徒への支援については確実に措置を行う必要。</u>

➤ その他

3. 他市事例

□ 静岡市 R8年夏に休日、R12年度平日も含めた地域移行を実施する計画であったが、R6.12に方針転換。

→ R9からの平日も含めた地域移行を実施

【主な理由(静岡市長記者会見より)】

平日と休日の指導者が違うと生徒が混乱することが目に見えている。この問題を解決するため、段階的な地域移行ではなく、平日も含めた地域移行に取り組む。(今までの計画の前倒しではなく、方針転換としての位置づけ。)

社会全体で活動場所を確保する必要があるとの認識から市長部局が中心で実施。

2025年1月24日 市長定例記者会見 資料1

2022年冬に市ホームページや学校を通じてお知らせしていた予定

➤ 2026年夏、休日の部活動を終了し、地域クラブ活動を段階的に実施、
2030年には、平日も部活動を終了し、全日展開する。



新しい計画

➤ 2027年9月 平日と休日の活動を同時期に転換



【静岡市＝「ハイブリット型」】

案

民間事業者との共創、行政の下支えによってスポーツ文化芸術活動を裾野を広げる。
民間や市民団体の掘り起こしを行い認定クラブの育成・誘致も行う一方、市営クラブも設置し、持続的な活動とする。

市内のスポーツ・文化芸術活動

「しずおか地域クラブ活動」

認定クラブ

市営クラブ

その他
一般の民間クラブ等

■ 長期的なイメージ

数年後ごとに見直し、徐々に市民が自走できる環境を構築していく。



➤ その他

3. 他市事例

□ 神戸市

神戸市では、部活動が果たしてきた役割を踏まえ、時代の変化に対応し、将来に渡って子供たちが主体的に選択し、多様な活動に参加できる機会を確保することを目的として、2026 年度に部活動を終了し、平日・休日ともに、生徒が地域の方々とともに活動する「神戸の地域クラブ活動」＝「K O B E ◆ K A T S U（コベカツ）」を開始します。

➤ 令和 7 年 1 月より地域クラブ（コベカツ）の活動団体の募集開始。（～2月16日まで）

申請段階で620団体から応募。会費は、無料の団体から 1 万円近い団体まで幅広い（3 ～ 4 千円の団体が最も多い）

活動頻度も様々。週 1 ～ 2 回の活動が多く、全ての団体が平日も活動できるわけではない。

活動の種類（実施主体）			活動の主な目的	特徴
民間 クラブチーム	選手コース 普及クラス	民間	競技力向上 技術向上	資格を有した指導者等による 専門的指導
教室・講座	文化・スポーツ 教室	民間	技術・技能向上 趣味	資格を有した指導者等による 専門的指導
「コベカツ」	技術・技能向上を目指す クラブ	多様な 活動団体	技術・技能向上	競技経験のある指導者等による 専門的指導
	スポーツ・文化活動に親し むことを目的としたクラブ		機会確保 楽しむ・親しむ	趣味を一緒に楽しむような活動
	レクリエーションクラブ		趣味を楽しむ 多様な交流	

※指導する活動だけでなく、地域の方や保護者の見守りのもとで実施する活動も含みます。

コベカックラブ第1次募集結果（速報）

募集期間：1月16日（木）～2月16日（日）

申請件数：620クラブ（内訳：スポーツ443、文化・芸術・その他177）

※今後の審査・確認等の状況によって、クラブ数は変動することがあります。

【スポーツ】

球 技		武 道		その他	
バスケットボール	66	空手道	24	陸上競技	36
バレーボール	51	カンフー・太極拳	13	ダンス	33
サッカー・フットサル	45	剣道	8	エクササイズ・リズム・ヨガ	6
軟式野球	27	柔道	5	パラスポーツ・ニュースポーツ	5
ソフトテニス	23	合気道	5	新体操	5
卓球	16	少林寺拳法	4	クライミング・ボルダリング	3
バドミントン	12	キックボクシング	2	バトン	3
硬式テニス	6	テコンドー	1	ダブルダッチ	2
ゴルフ	5	スポーツチャンバラ	1	フェンシング	2
ハンドボール	5	銃剣道	1	シーズンスポーツ	2
ソフトボール	5	カポエイラ	1	水泳&科学実験	1
ラグビー	3	居合道	1	インラインスケート	1
ボウリング	3	レスリング	1	スケートボード	1
フラッグフットボール	2			サイクルサッカー	1
硬式野球	1			アーチェリー	1
ドッジボール	1			ソフトダーツ	1
フレスコボール	1			よさこい踊り	1
計	272	計	67	計	104

【文化・芸術・その他】

吹奏楽	35	キャリア教育活動	4	バレエ	1
社会貢献・地域活動	16	国際交流(英会話等)	4	将棋	1
ものづくり	11	書道・文字	4	競技かるた	1
野外活動・レクリエーション・山登り	11	和太鼓	3	文芸(脚本)	1
プログラミング	10	書籍に関する活動	3	ラジオ番組制作	1
茶道	8	取材・制作	3	グラフィックデザイン	1
パソコン・情報処理	7	手芸・クラフト	3	着物着装	1
美術・絵画・造形	5	華道	2	暮らしのマナー	1
料理	5	eスポーツ	2	釣り	1
フラダンス	5	ドローン操縦	2	農業(米・野菜栽培)	1
軽音活動	5	演劇	1	野鳥観察	1
ボードゲーム	5	チアダンス	1	複数(文化系)	1
合唱・コーラス・アカペラ	4	社交ダンス	1		
獅子舞・神楽舞・剣詩舞道	4	歌とダンス	1	計	177